

①正規課程

がん医療の現場で顕在化している課題に多職種連携で挑む人材育成コース

- 対象者 修士課程(医師、看護師、保健師、薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師、遺伝カウンセラー、診療情報管理士、理学・作業・言語聴覚療法士、生殖補助医療胚培養師、社会福祉士、介護福祉士、公認心理師(臨床心理士)など)
- 修業年限 2年
- 修了要件 必修科目6単位以上を含む10単位以上を履修し、試験に合格すること
- 履修方法

授業科目の区分	最低単位数		備 考
	必修	選択	
専門科目	6 単位以上	4 単位以上	がん治療の先端知識の基礎 (2単位) 医療プロフェッショナリズム・医療安全 (1単位) がんのカウンセリング概論 (2単位) がん多職種協働アクティブラーニング実習 (1単位) 計6単位以上必修 さらに下記の中から4単位以上を選択する。 がん治療薬学 (2単位) 臨床腫瘍学各論 (1単位) がん診療の基礎知識 (2単位) がん治療放射線医学 (2単位) 臨床心理学概論 (2単位) がん臨床検査学 (1単位) など 連携校共通：がんサバイバーを支える多職種医療人養成コース※ 連携校共通：がん予防を推進する遺伝医療職育成コース※ 連携校共通：がん学際領域の医療者養成コース※ ◎選択科目につきましては、「開講科目一覧」の「選択」をご参照ください。
小計	6 単位	4 単位以上	
合計	10 単位以上		

【注】 がん医療の現場で顕在化している課題に多職種連携で挑む人材養成コース修了認定要件：

- ・コース登録後2年以上在学し、上記10単位以上を習得し、試験に合格しなければならない。
 - ・がんプロコースの履修を希望する者は、所定の期間内に、「がんプロコース登録届」を事務局に提出してください。
 - ・大学院課程を修了するためには、それぞれの所属専攻・分野の修了要件が適用されます。詳細は、所属専攻・分野の修了要件及び履修方法を確認してください。
- ※連携校共通インテンシブコースにおける最新情報につきましては、GoogleClassroomもしくは国際医療福祉大学大学院がんプロHP (<https://www.iuhw.ac.jp/daigakuin/cancer5/>) をご参照ください。

がん個別化医療・創薬の推進を目指したゲノム医療やがん免疫療法の開発を担う人材養成コース

- 対象者 修士課程(医師、看護師、薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師、遺伝カウンセラーなど)
- 修業年限 2年
- 修了要件 必修科目7単位以上を含む10単位以上を履修し、試験に合格すること
- 履修方法

授業科目の区分	最低単位数		備 考
	必修	選択	
専門科目	7 単位以上	3 単位以上	がん遺伝子解析学 (1単位) 臨床腫瘍学各論 (1単位) がん免疫治療学 (1単位) がん治療薬学 (2単位) がん治療の先端知識の基礎 (2単位) 計7単位以上必修 さらに下記の中から3単位以上を選択する。 医療プロフェッショナリズム・医療安全 (1単位) がんのカウンセリング概論 (2単位) がん診療の基礎知識 (2単位) がん治療放射線医学 (2単位) がん臨床検査学 (1単位) など 連携校共通：がんサバイバーを支える多職種医療人養成コース※ 連携校共通：がん予防を推進する遺伝医療職育成コース※ 連携校共通：がん学際領域の医療者養成コース※ ◎選択科目につきましては、「開講科目一覧」の「選択」をご参照ください。
小計	7 単位	3 単位以上	
合計	10 単位以上		

【注】 がん個別化医療・創薬の推進を目指したゲノム医療やがん免疫療法の開発を担う人材養成コース修了認定要件：

- ・コース登録後2年以上在学し、上記10単位以上を習得し、試験に合格しなければならない。
 - ・がんプロコースの履修を希望する者は、所定の期間内に、「がんプロコース登録届」を事務局に提出してください。
 - ・大学院課程を修了するためには、それぞれの所属専攻・分野の修了要件が適用されます。詳細は、所属専攻・分野の修了要件及び履修方法を確認してください。
- ※連携校共通インテンシブコースにおける最新情報につきましては、GoogleClassroomもしくは国際医療福祉大学大学院がんプロHP (<https://www.iuhw.ac.jp/daigakuin/cancer5/>) をご参照ください。

がんのデータサイエンスに基づく予防医療やがんサバイバーケアを推進する人材育成コース

- 対象者 修士課程(医師(検診医療、腫瘍内科、緩和医療、遺伝医学、公衆衛生学、外科、放射線科、病理診断科など)、看護師・保健師、歯科医、診療放射線技師、臨床検査技師、遺伝カウンセラー、生殖補助医療胚培養師、理学・作業・言語聴覚療法士、社会福祉情報管理士(診療情報アナリスト、データサイエンティスト)、介護福祉士、公認心理師(臨床心理士)、がん検診事業管理)
- 修業年限 2年
- 修了要件 必修科目6単位以上を含む10単位以上を履修し、試験に合格すること
- 履修方法

授業科目の区分	最低単位数		備 考
	必修	選択	
専門科目	6 単位以上	4 単位以上	予防医学総論 (2単位) がん診療の基礎知識 (2単位) がんのカウンセリング概論 (2単位) 計6単位以上必修 さらに下記の中から4単位以上を選択する。 医療福祉データサイエンス (2単位) 生物統計学概論 (2単位) がん治療薬学 (2単位) がん治療の先端知識の基礎 (2単位) 医療プロフェッショナルリズム・医療安全 (1単位) がん理学療法学 (1単位) がん治療放射線医科学 (2単位) がん臨床検査学 (1単位) など 連携校共通：がんサバイバーを支える多職種医療人養成コース※ 連携校共通：がん予防を推進する遺伝医療職育成コース※ 連携校共通：がん学際領域の医療者養成コース※ ◎選択科目につきましては、「開講科目一覧」の「選択」をご参照ください。
小計	6 単位	4 単位以上	
合計	10 単位以上		

- 【注】がんのデータサイエンスに基づく予防医療やがんサバイバーケアを推進する人材育成コース修了認定要件：
- ・コース登録後2年以上在学し、上記10単位以上を習得し、試験に合格しなければならない。
 - ・がんプロコースの履修を希望する者は、所定の期間内に、「がんプロコース登録届」を事務局に提出してください。
 - ・大学院課程を修了するためには、それぞれの所属専攻・分野の修了要件が適用されます。詳細は、所属専攻・分野の修了要件及び履修方法を確認してください。
- ※連携校共通インテンシブコースにおける最新情報につきましては、GoogleClassroomもしくは国際医療福祉大学大学院がんプロHP (<https://www.iuhw.ac.jp/daigakuin/cancer5/>) をご参照ください。

がん看護CNSコース

- 対象者 看護師・がん看護CNSコースに在籍している大学院生
- 修業年限 2年
- 修了要件 必修専門科目26単位、コース共通科目A 8単位以上、コース共通科目B 6単位以上、合計40単位以上を履修し、研究の最終試験に合格すること。
- 履修方法

授業科目の区分	最低単位数		備 考
	必修	選択	
コース共通科目A	8 単位		専門看護師 制度上の科目※ 「看護研究」(2単位) 「看護教育論」(2単位) 「看護管理論」(2単位) 「看護倫理」(2単位) 「看護政策論」(2単位) 「コンサルテーション論」(2単位) 計6科目から8単位以上を選択必修
コース共通科目B	6 単位		「高度実践フィジカルアセスメント論」(2単位) 「高度実践臨床病態生理学」(2単位) 「高度実践臨床薬理学」(2単位) 計3科目6単位 必修
専門科目	26 単位	—	「高度実践がん看護学講義[修士]Ⅰ(がんに関する病態生理学)」(2単位) 「高度実践がん看護学講義[修士]Ⅱ(がん看護に関する理論)」(2単位) 「高度実践がん看護学講義[修士]Ⅲ(がん看護に関する看護援助論)」(2単位) 「高度実践がん看護学講義[修士]Ⅳ(がん薬物療法看護)」(2単位) 「高度実践がん看護学講義[修士]Ⅴ(緩和ケア)」(2単位) 「高度実践がん看護学演習[修士]Ⅰ(がん薬物療法看護)」(2単位) 「高度実践がん看護学演習[修士]Ⅱ(緩和ケア)」(2単位) 「高度実践がん看護学実習[修士]Ⅰ(がん診断と治療実習)」(2単位) 「高度実践がん看護学実習[修士]Ⅱ(専門看護師役割機能実習)」(4単位) 「高度実践がん看護学実習[修士]Ⅲ(緩和ケア実習)」(4単位) 「高度実践がん看護学課題研究」(2単位) 計11科目26単位 必修
小計	40 単位	—	
合計	40 単位以上		

- 【注】※時間割上の科目名称については、p.109 をご参照ください。
- ・がんプロコースの履修を希望する者は、所定の期間内に、「がんプロコース登録届」を事務局に提出してください。
 - ・大学院課程を修了するためには、それぞれの所属専攻・分野の修了要件が適用されます。詳細は、所属専攻・分野の修了要件及び履修方法を確認してください。